



明日を元気に迎えるためには

3年生の国語の教科書に、阪田寛夫さんの「夕日が背中を押してくる」の詩が載っています。この詩を読むと、私は、秋だなあという思いとともに、《さよなら、また明日。明日も元気に学校に来てね。》という気持ちになります。

次の日も元気に学校に来るためには、前日の夜の過ごし方が関係します。そして、当日の朝の過ごし方も同様です。

夕日が 背中を おしてくる
夕日が 背中を おしてくる
まっかな うでで おしてくる
あるく ぼくらの うしろから
でっかい 声で よびかける
さよなら さよなら
さよなら きみたち
ばんごはんが まってるぞ
あしたの朝 寝過ごすな
夕日が 背中を おしてくる
そんなに おすな あわてるな
ぐるり ふりむき 太陽に
ぼくらは 負けず となるんだ
さよなら さよなら
さよなら 太陽
ばんごはんが まってるぞ
あしたの朝 寝過ごすな

阪田寛夫

夜をどう過ごすか

- ・夕御飯をおいしく、楽しく
- ・次の日はどんな予定か？
- ・持っていくものは？提出するものは？
- ・入浴してさっぱり 十分な睡眠

朝はどう過ごすか

- ・早起き 洗顔
- ・朝御飯は一日のエネルギー
- ・歯を磨く。身だしなみを整える。
- ・持ち物を確かめて、「行ってきます！」

皆さんの、夜の、そして、朝の過ごし方はどうでしょうか。一日様々な出来事があって、いろいろな気持ちを抱えて家に帰ります。家族と過ごす時間が、次の日を元気に迎える力を蓄える場でありたいものです。

夕日に、太陽に、負けないように。**夕日が背中を押してくる**

次の日には、太陽に元気に挨拶できるように。**あしたの朝 寝過ごすな**

自分の体のために。家の人に迷惑や心配を掛けないように。10月も元気に生活します。

家庭学習について アンケートへの回答をありがとうございました

9月号の学校だよりで、長期休業中の家庭学習について、皆さんとともに考えてみたい旨のお話をしました。アンケート回答の御協力をありがとうございました。【結果は次頁参照】

全体的には、子供たちと保護者の考えに大きな開きはありませんでした。しかし、自分の自由時間が欲しい、と思っている子はいます。声には出さないけれど、静かに思っている子はほかにいいるかもしれません。

本校では、長期休業の前に面談の機会があります。この場を使って、お子さんと保護者様と担任とで話し合い、みんなが納得できる家庭学習を進めていくのがよいかと、今回の結果から感じました。担任から「このような内容で考えたがどうか」という案を提示します。それをもとに考えていくとよいのでは、ということです。

多様性の時代です。今後も様々な考えが出てくると思います。決まった正解はなく、その時々で考えて、よりよいと思う方法で進めていくしかありません。「常に見直す」という意識で進めていけたら、と考えています。いつでも御意見をお寄せください。

